

【この時期の管理ポイント】

- 適期の中干しと溝切りにより、根の発育を促し、気象変動(猛暑や強風)に負けない稲づくりを進めましょう!
- 暑い夏の登熟を高めるため、ケイ酸資材の施用を積極的に行いましょう!
- 畦畔・農道の草刈りを徹底し、カメムシの生息密度を低下させましょう!

1. 6月8日現在の水稻生育状況

- 6月以降の低温・日照不足により、県内全般の生育は「平年並」となっています。
- 阿賀野市の水稻生育状況は、前年比で草丈「やや短」、茎数「少」、葉数は「やや少」となっており、特に田植えの遅いほ場では茎数確保が遅れています。
- 指標値(生育のめやす)比では、草丈「長め」、茎数「やや多」、葉数「やや多」となっています。

表1 水稻生育状況(6月8日現在)

品種名	地域名	田植日 (は種日)	草丈 (cm)			茎数 (本/m ²)			葉数 (L)			葉色 (SPAD)		
			本年値	前年比	指標比	本年値	前年比	指標比	本年値	前年比	指標比	本年値	前年比	指標比
	指標値	5月10日	26			210			6.7			35		
コシヒカリ	水原 下条	5月10日	30	93%	115%	207	83%	99%	7.0	-0.4	+0.3	34.8	-0.1	-0.2
	京ヶ瀬 京ヶ島	5月2日	33	-	127%	342	-	163%	7.3	-	+0.6	42.6	-	+7.6
	安田 籠田	5月10日	30	103%	115%	242	112%	115%	7.3	+0.2	+0.6	36.0	+1.9	+1.0
	笹神 宮島	5月5日	31	91%	119%	238	90%	113%	7.0	-0.9	+0.3	35.1	-3.7	+0.1
	笹神 沖	5月5日	29	88%	111%	291	88%	139%	7.6	-0.5	+0.9	39.1	-0.6	+4.1
こしいぶき	指標値		24			220			6.6			38		
	水原 中瀨	5月5日	31	103%	129%	234	49%	117%	7.5	-0.2	+0.9	42.5	±0	+4.5
	京ヶ瀬 田山	5月3日	30	-	125%	246	-		7.4	-	+0.8	36.1	-	-1.9
五百万石	水原 福田	5月16日	22	92%	-	178	70%	-	6.6	-0.9	-	35.3	-8.9	-
直(コシカ)	水原 門前	4月25日	20	83%	-	132	51%	-	5.6	-0.6	-	33.9	-2.5	-

2. 中干し後～穂肥までの管理(溝切り・飽水管理・ケイ酸資材の施用)

北陸地方の3ヶ月予報によると、今年の夏は気温が高く暑い夏が見込まれています。高温に負けない稲づくりに向けて、中干し・溝切り やケイ酸資材を積極的に施用しましょう。

- 溝切りは必須対策
 - ・高温時の迅速な水の供給、渇水時の効率的な用水利用を図るため、溝切りは必ず行いましょう。
- 飽水管理と水の更新をこまめに実施
 - ・「浅水で湛水」→足あとに水が残っているくらいまで減水したら再び湛水を繰り返します。
- ケイ酸資材の追肥で高温対策
 - ・これからの時期、イネは最もケイ酸をよく吸収するため、出穂35～40日前のケイ酸追肥が効果的です。

表2 ケイ酸資材の施用例

資材名	施用時期	施用量(kg/10a)
ケイ酸加里プレミア34	出穂35～40日前	20～40
マルチサポート2号	出穂40日前	20～40
ミネラル三味	出穂20～40日前	15～30

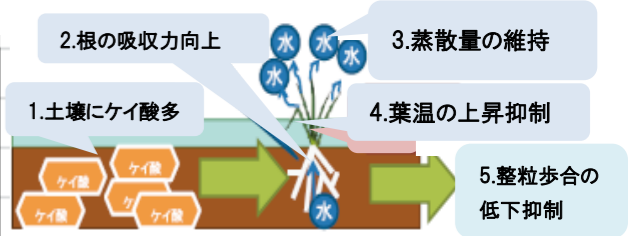


図1 登熟期高温だった場合のケイ酸の多少が稲に与える影響

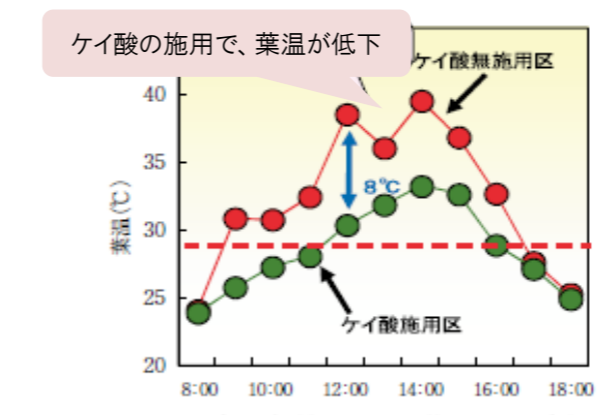


図2 高温条件における葉温に及ぼすケイ酸の効果

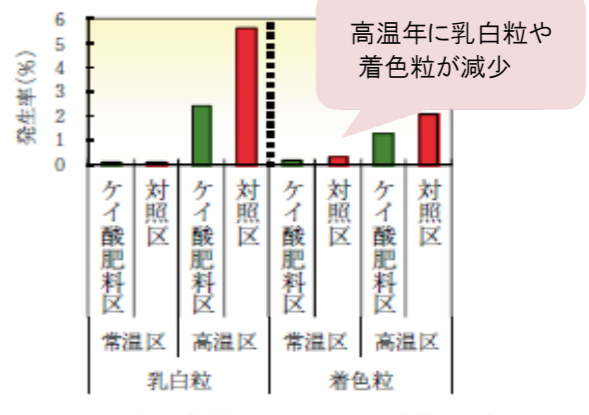


図3 高温条件におけるケイ酸施用が玄米品質に及ぼす効果

3. 穂肥施用のポイント

(1) 穂肥施用量・時期のめやす

- ・水稻の出穂期は、「平年並」が予想されます。出穂期は今後の天候により変動しますので、あくまでも現段階での「めやす」としてください。
- ・特に極早生品種は、施用時期が早いので、1回目の穂肥が適期に施用できるよう準備しておきましょう。

表3 穂肥の施用量・時期のめやす

品種名	出穂期 平年値	穂肥窒素量 (kg/10a) ※	穂肥時期の目安		湛水管理開始時期 (出穂25日前～)
			1回目 穂肥時期(出穂前日数)	2回目 穂肥時期(出穂前日数)	
こしいぶき	7/29	2	7/6 (-23日)	7/15 (-14日)	7/4
ひとめぼれ	7/29	2～3	7/4 (-25 ~ -20)	7/15 ~ 7/19 (-14 ~ -10)	7/4
コシヒカリ(5/10植え)	8/9	1～3	7/22 (-18 ~ -15)	7/30 (-10)	7/15
コシヒカリ(連休植え)	8/6	1～3	7/19 (-18 ~ -15)	7/27 (-10)	7/12
わたぼうし	7/25	2～3	7/3 (-22 ~ -20)	7/13 ~ 7/15 (-12 ~ -10)	6/30
こがねもち	8/2	1～3	7/15 (-18 ~ -15)	7/23 (-10)	7/8
五百万石	7/24	1～2	7/4 (-20)	7/12 (-12)	6/29

※コシヒカリ5/10植え以外は、連休移植と想定 ※化学肥料を想定

表はあくまで平年並の出穂期を想定した施用時期のめやすです。今後の天候により、時期が前後する可能性がありますので、JA、普及指導センターの最新情報を確認ください。